

JAPONICA

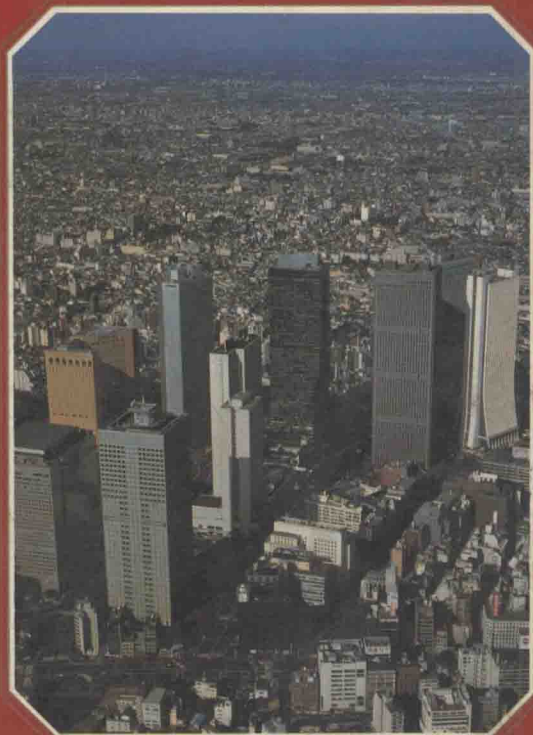
時事百科



世界と日本の最新情報



1983 小学館



ENCYCLOPEDIA
JAPONICA

時事百科

1983



江苏工业学院图书馆
藏书章

小学館



JAPONICA

時事百科

1983

大日本百科事典 編

© 小学館 1983

定価4300円

昭和58年3月30日

初版第1刷発行

編集者	相賀徹夫
発行所	株式会社 小学館
郵便番号	一〇一
東京都千代田区一ツ橋	二ノ三ノ一
電話	編集・東京 〇三―三〇一五六二〇 製作・東京 〇三―三〇一五三三三 販売・東京 〇三―三〇一五七三九
振替	東京八一二〇〇番

印刷者	凸版印刷株式会社
アート紙抄	三菱製紙株式会社
特用紙抄	十条製紙株式会社
特ロ ス抄	ダイニツク株式会社
表紙箔	日本ミクロコーティング株式会社
製本	凸版印刷株式会社

* 造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら、おとりかえいたします

* 本書の内容の一部または全部を、無断で複写複製（コピー）することは、法律で認められた場合を除き、著作者および出版者の権利の侵害となりますので、その場合はあらかじめ小社あて許諾を求めてください

Printed in Japan

ISBN4-09-529083-8

はしがき

錯綜する現代社会で、明確な指針をつかむことはきわめてむずかしい。本書は、この不透明な時代に対処するための的確な情報が得られるよう企図、編さんした時事問題の百科事典である。一九八三年版は八二年一年間の出来事が中心となつてゐるが、あわせて最近数年間の時流を手短にとらえ、八〇年代全般の動向をも展望できるように配慮した。執筆には第一線の学者、研究者、ジャーナリストがあつた。高度な内容を正確に記述、かつ興味あるエピソードを盛り込み、親しみやすく表現することにとつめた。各項目ともたんなる事実の解説にとどまらず、ひとつの

問題提起がなされているはずである。巻末の索引には、約二八〇〇項目を収録した。見出し項目としてはたれていないが、本文のなかで触れている事柄を見つづけるのに、また、見出し項目ではあつても他項目にも解説がある場合、併読するのに役だつので、広く活用していただきたい。文中、敬称は原則として省略させていただいた。また、年代は西暦を用い、必要に応じて（）内に日本年号を入れたが、いくつかの事項に限っては、とくに日本年号を用いた場合もある。そのほか、くわしい凡例については各編の扉に掲げてあるので参照されたい。

本文目次

ドキュメント一九八二

事項編 五十音順

41 25

今日の焦点

食糧戦略：42／税金：48／テレビ30年：54

一般項目は分野別項目一覽参照

各国編

世界の現況

アジア／中東・アフリカ／ヨーロッパ
南北アメリカ／オセアニア

314

各国(五十音順)

318

県勢編

各県(コード順)

378

指定都市

416

人物編一九八二(五十音順)

418

●人物スポットライト——話題の人間像……
ノーベル賞・芥川賞・直木賞各受賞者、文化勲章

418

Topics一覽

IBM事件	アラスカの「善政」	アラスカの「善政」	アメリカ	148
海洋法会議	学校給食	韓国プロ野球	言語純化運動(韓国)	347
自然を守る反基地運動	障害に関する用語	小学館漫画賞受賞者	昭和三十九年	299
食料成分表の改訂	心身症	新設美術館(一九八二年)	スフィンクスのひげ	256
(エジプト)	千里ニュータウン	緑化のたかい20年	総会屋	182
談合	地方出版	利賀フェスティバル	飛ぶボール、飛ぶクラブ	176
PLO	被爆者			219

事項編分野別項目一覽

国際政治		国内政治		国内経済		労働		環境公害		資源	
核	86	行政改革	103	株式	94	公務員	127	公害	117	エネルギー	70
国際連合	134	警察	110	金融	106	雇用	144	国連環境会議	142	海洋開発	84
国連環境会議	142	憲法	115	クレジットカード	108	サラリーマン	153	自然保護	163	水産業	195
社会主義	167	皇室	123	鉱業	119	労働運動	223	住民運動	172	都市問題	231
人口問題	187	公務員	127	国民生活	140	賃金	205	環境公害	142	エネルギー	70
人種・民族問題	190	公明党	128	雇用	144	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
石油	205	裁判	148	財政	150	賃金	205	公害	117	海洋開発	84
中東問題	218	自衛隊	156	株式	94	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
超大国	219	社会主義	167	金融	106	雇用	144	公害	117	海洋開発	84
南北問題	234	社会保障	169	クレジットカード	108	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
難民	235	社会民主連合	170	国民生活	140	賃金	205	公害	117	海洋開発	84
反核運動	259	自由民主党	173	雇用	144	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
フォークランド紛争	271	情報公開	182	財政	150	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
北方領土	295	新自由クラブ	190	産業動向	155	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
国際経済	131	政界	202	商法改正	181	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
エネルギー	70	選挙	206	水産業	195	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
エレクトロニクス	71	地方自治	215	石炭	204	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
金	105	同和問題	230	石油	205	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
経済協力	109	日本共産党	250	地価	214	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
国際通貨	132	日本社会党	251	中小企業	217	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
コンビューター	147	法律	299	貸金	223	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
自動車	166	民社党	299	テクノポリス	224	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
人口問題	187			農業	254	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
水産業	195			百貨店・スーパー	268	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
石油	205			物価	273	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
南北問題	234			防衛産業	285	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
半導体	262			貿易	286	労働運動	223	公害	117	海洋開発	84
貿易	286					労働運動	223	公害	117	海洋開発	84

今日の焦点

食糧戦略	税金	テレビ30年
超大国の「第三の武器」……	不公平税制の実態を探る……	ブラウン管でみる「時代」……
42	48	54

運輸通信	林業	預貯金
航空		
高速道路		
交通運輸		
国鉄		
私鉄		
自動車		
新幹線		
新交通システム		
船舶		
電話・通信		
リニアモーターカー		
302	303	301

ENCYCLOPEDIA
JAPONICA

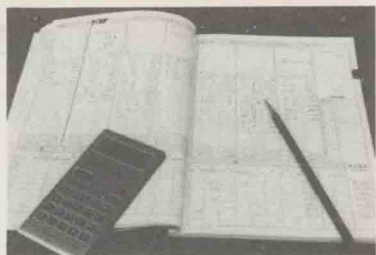
時事百科

1983



大日本百科事典
編

小学館



質への希求

草 柳 大 蔵

危機を意味するクライシスという言葉は、元来は「あれこれかの選択の岐路に立たされた状態」をいうのである。この言葉の本来の意味において、一九八二年の日本列島は明け暮れしたといえるであろう。

第一は、新陳代謝の現象がみられたことである。まず、その代表が「経済成長率」に対する受け止め方だ。政府の見通しは五・二五%で始まったが、一般の受け止め方は「高すぎるのではないか」であった。結果的には市民感覚のほうに正しく実質成長率は三・一%に終わったが、その要因として、従来の「財政の出勤」と「輸出のドライブ」という景気浮揚の「助っ人」が作動しなくなったことがあげられる。経済界もこの二本柱に見切りをつけ、労働の質の向上による付加価値の増加をはかるためエレクトロニクス技術を導入し、このためOAやFAの講習会がフィーバー現象を呈した。

社会現象では、大火災をだしたホテル・ニュージャパンの横井英樹や、役員会のクーデターで失脚した三越の岡田茂にみられるように、戦後の「成功物語」の主人公の世界からワンマン・タイプが没落してゆくことが明らかになつた。

第二に、一つの事故が大量の犠牲者をだすという、文明上の問題を突きつけられた年でもあった。ホテル・ニュージャパンの火災では死者三三人、重軽傷者二九人。この事故の翌日(二月九日)、日航DC-8が羽田沖に墜落、死者二

四人、負傷者一五〇人をだした。機長は精神分裂病だった。翌月、佐世保市でタンカーが炎上、作業員一〇人が死亡。秋には札幌市のスーパー周辺に発生した食中毒者が五〇〇〇人を突破した。以上のような事件を眺めていると、われわれはいま、文明軸上のどのあたりを、どのような姿勢で歩いているのか、強い反省を始めなければならないように思われる。

八二年から大衆にも親しくなってきた「新時代の3L」とはLSI、レーザー、ライフサイエンスのことであるが、これも単一な原理(たとえば企業原理)だけに任せておくと、過剰情報時代を招来しないとも限らないであろう。

第三に、「低成長」が一般原理として認識された年であるが、大衆の感覚としては国民生活白書が語っているように「生活の質の維持向上をはかる消費意欲の根強さ」があらわれだした。それでは「生活の質」とはなにかということになると、これは個人の価値観にかかわる性質の問題であり、しよせん言語や記号などでデジタル的には表示できないものである。しかし、たとえば家計支出に占める教養費、娯楽費、交際費などの人間的充足感につながる費用の増大が、これからの日本人の「生き方」を物語っているのではないだろうか。

商品から芸能まで「軽・薄・短・小」が歓迎されたこの一年でもあるが、これをどう整理してゆくかが、これから

(評論家)

はしがき

錯綜する現代社会で、明確な指針をつかむことはわけてむずかしい。本書は、この不透明な時代に対処するための的確な情報が得られるよう企図、編さんした時事問題の百科事典である。一九八三年版は八二年一年間の出来事が中心となっているが、あわせて最近数年間の時流を手短にとらえ、八〇年代全般の動向をも展望できるよう配慮した。執筆には第一線の学者、研究者、ジャーナリストがあつた。高度な内容を正確に記述、かつ興味あるエピソードを盛り込み、親しみやすく表現することにとめた。各項目ともたんなる事実の解説にとどまらず、ひとつの

問題提起がなされているはずである。巻末の索引には、約二八〇〇項目を収録した。見出し項目としてはたてられていないが、本文のなかで触れている事柄を見つめるのに、また、見出し項目ではあつても他項目にも解説がある場合、併読するのに役だつので、広く活用していただきたい。文中、敬称は原則として省略させていただいた。また、年代は西暦を用い、必要に応じて（）内に日本年号を入れたが、いくつかの事項に限っては、とくに日本年号を用いた場合もある。そのほか、くわしい凡例については各編の扉に掲げてあるので参照されたい。

本文目次

ドキュメント一九八二

事項編 五十音順

25

今日の焦点

食糧戦略：42／税金：48／テレビ30年：54

一般項目は分野別項目一覽参照

各国編

41

世界の現況

アジア／中東・アフリカ／ヨーロッパ

南北アメリカ／オセアニア

各国(五十音順)

314

県勢編

313

各県(コード順)

指定都市

378

人物編一九八二(五十音順)

416

人物スポーツライト——話題の人間像

418

ノーベル賞・芥川賞・直木賞各受賞者、文化勲章

Topics一覽

IBM事件	259	219	146	74	176	156	182	401
アラスカの「善政」								
＜アメリカ＞								
海洋法会議								
学校給食								
韓国プロ野球								
言語純化運動(韓国)								
自然を守る反基地運動								
障害に関する用語								
小学館漫画賞受賞者								
昭和軽薄体								
食品成分表の改訂								
食身症								
新設美術館(一九八二年)								
スフィンクスのひげ								
(エジプト)								
千里ニュータウン								
緑化のたかい20年								
総会屋								
談合								
地方出版								
利賀フェスティバル'82								
飛ぶボール、飛ぶクラブ								
PLO								
被爆者								

事項編分野別項目一覽

国際政治	86	国内政治	103
核	134	行政改革	110
国際連合	142	警察	115
国連環境会議	167	憲法	123
社会主義	187	皇室	127
人口問題	190	公務員	128
人種・民族問題	205	公明党	148
石油	218	財政	150
中東問題	219	裁判	156
超大国	234	自衛隊	167
南北問題	235	社会主義	169
難民	259	社会保障	170
反核運動	271	社会民主連合	173
フォークランド紛争	295	自由民主党	182
北方領土	313	情報公開	190
国際経済	70	新自由クラブ	202
エネルギー	71	政界	206
エレクトロニクス	105	選挙	215
金	109	地方自治	230
経済協力	132	同和問題	250
国際通貨	147	日本共産党	251
コンビューター	166	日本社会党	291
自動車	187	法律	217
人口問題	195	民社党	223
水産業	205	外交	82
石油	234	教科書	102
南北問題	262	経済協力	109
半導体	286	自動車	166
貿易			

今日の焦点

食糧戦略	42
税金	48
テレビ30年	54
超大国の「第三の武器」……	
不公平税制の実態を探る……	
ブラウン管でみる「時代」……	

預貯金	301
林業	303
運輸・通信	
航空	120
高速道路	124
交通運輸	125
国鉄	137
私鉄	164
自動車	166
新幹線	184
新交通システム	186
船舶	208
電話・通信	228
リニアモーターカー	302

受章者、学士院恩賜賞・芸術院恩賜賞各受賞者、
主要国指導者、政党党首、タレント、スポーツ界
のスターなど

●本と人
●人物メモリアル——著名物故者
445 442

ジャンル百科便覧

449

芸術、地理・歴史、社会、科学、動物、植物、
スポーツ記録、国勢調査人口

執筆著・写真資料提供者一覧
477 479

カラー特集

中曽根外交の初仕事―日米、日韓関係の亀裂を修復
「ニュースアラカルト」
9

世界に広がる平和運動のうねり
モナコのシンデレラ逝く
ソ連のブレジネフ書記長死去
フォークランド紛争
苦悩するボーランド
欠陥ホテル大火災
浩宮さま、ブラジルを公式訪問
北国接近、二つの新幹線開業
レオ、新球団結成4年目で日本一
SKD、浅草からさようなら
日航機、羽田空港沖に墜落
さまざまえるパレスチナ人
日本の防衛―自衛隊の新鋭兵器
《話題の美術》―一九八二年の展覧会から
《話題のステージ》―一九八二年の公演から
サンデー・ファイバー―東京・原宿
名山を歩く
数寄屋の美再現―桂離宮
東京の超高層ビル群
248 246 241 24 22 20 16 14 13 13 12 12 12 11 11 11 10 10

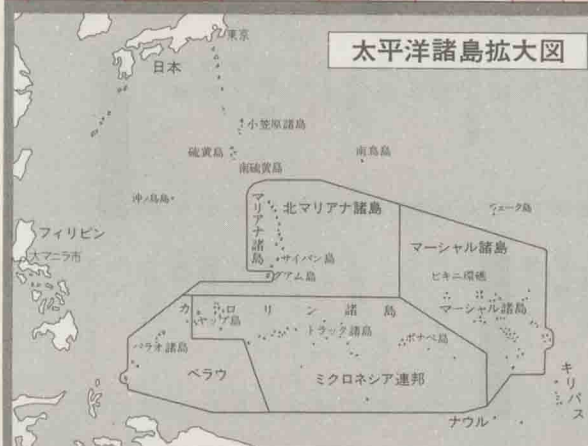
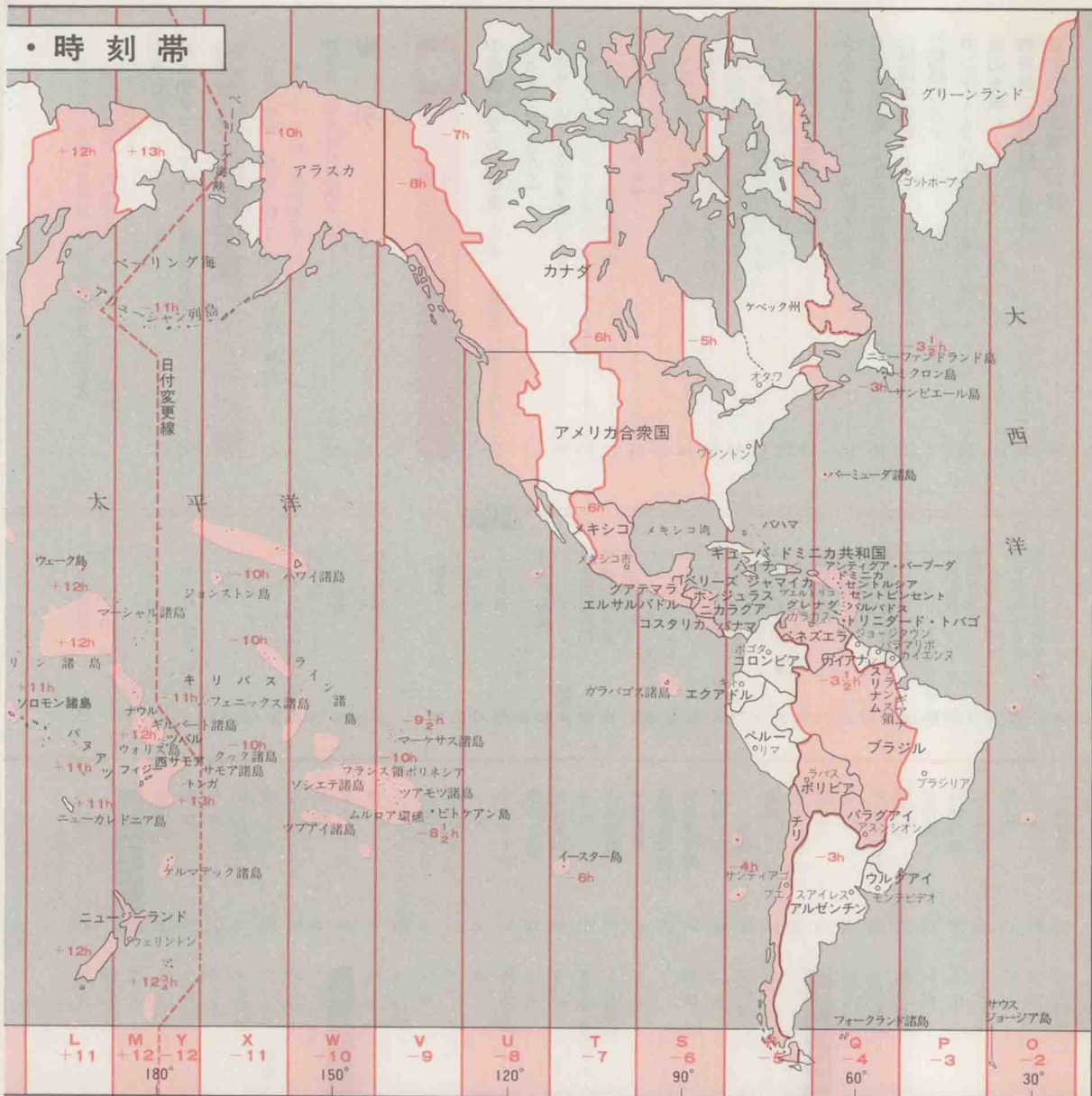
用語

比例代表制
フォンダ、バーグマン、
グレースの死
ブレジネフの「一八
ベルラ村が独立（騒動
（スイス）
ホスピス
ホームステイ
マックイムシ
マンモス国勢調査（中国
緑の党（西ドイツ）
南硫黄島
ミニバイク
若者言葉（一九八二年）
188 167 163 353 350 304 99 96 340 344 70 207

一般炭
エグゾセ
MXミサイル
カントリー・リスク
技術的失業
クルーガーランド金貨
構造型過失犯
国連包括交渉
固体天然ガス
ジョセフソン素子
シリコンバレー
START（スタート）
スターリングエンジン
セーフガード
ゼロ・クーポン債
センサー
戦争水域
第五世代コンピュータ
第二薬局
中期業務見積もり
デフォルト宣言
デモンストレーション効果
投射重量
燃料電池
バイキングパワー
メカトロニクス
モノクローナル抗体
リニューアル
流民
236 269 97 310 269 71 87 139 132 158 64 148 272 310 107 288 71 87 158 263 148 71 235 118 106 139 110 206 87 272 205

林業	303	社会	60	犯罪	260	文化	61	コンピュータ	147
愛国心	63	右翼	67	婦人問題	272	アニメーション	62	地震	162
医療	63	親子問題	78	物価	273	囲碁	62	自然保護	163
覚せい剤	90	過激派	91	ふるさと村	274	映画	67	新素材	193
観光	98	ギャンブル	101	法律	291	演芸	72	臓器移植	209
薬	107	クレジットカード	108	ホテル	296	演劇・舞踊	73	天文	227
高齢化社会	129	国民生活	143	老人問題	305	音楽	77	電話・通信	228
子供	143	サラーリマン	153	ロッキード裁判	308	オーディオ	79	バイオテクノロジー	256
事故・災害	160	社会保障	169	若者文化	310	学術調査	87	半導体	262
住宅	171	住民運動	172	ギャンブル	310	建築	114	リニアモーターカー	302
生涯教育	177	障害者問題	177	玩具	310	国語	130	ロボット	309
消費者運動	180	情報公開	182	親子問題	310	古代史発掘	142	ワールドプロセッサ	312
人口問題	188	新語・流行語	200	学校教育	310	宗教	170	映画	67
性	208	銭湯	214	教科書	310	将棋	179	出版	158
地価	216	中国残留孤児	221	国語	310	図書館	225	CM・CF	122
町内会	222	著作権	222	子供	310	博物館	232	新聞	188
同和問題	230	都市問題	231	生涯教育	310	美術	257	新語・流行語	194
難病	233	年金	259	大学	310	ビオデイスク	264	タレント	211
反核運動	259	核兵器	259	幼児教育	310	ファッション	269	著作権	222
						文学	279	放送	289
						文化財保護	284		
						漫画	297		
						若者文化	310		
						科学・自然			
						医療	63		
						宇宙開発	65		
						エレクトロニクス	71		
						海洋開発	84		
						科学技術	85		
						火山活動	92		
						川崎病	95		
						癌（がん）	96		
						気象	100		
						原子力開発	113		
						競馬	111		
						ゲートボール	121		
						高校野球	145		
						ゴルフ	196		
						スポーツ界	199		
						相撲	230		
						探検・冒険	213		
						登山	230		
						プロボクシング	275		
						プロ野球	276		
						プロレス	278		

• 時刻帶



世界要図



編集協力 株式会社 三友社

中曽根外交の初仕事

日米、日韓関係の亀裂を修復



第1回会議終了後、ホワイトハウス南庭で内外記者団に語る日米両首脳。中曽根首相は原稿なしで英語のスピーチを試みた(83年1月18日)



ソウルの青瓦台(大統領官邸)で会談に臨む中曽根首相と全斗煥大統領(83年1月11日)

一九八二年一月に就任した中曽根首相は、前政権が先送りしていた日米、日韓の懸案をいっきよに処理せんと、八三年の年明けそうそう外交活動を意欲的に展開した。まず一月一日にソウルを訪れ、共同声明で韓国の防衛努力を評価。ついで、同一七日にはワシントン入りし、レーガン大統領との会談で「日米は太平洋を挟んだ運命共同体」との認識を表明した。一連の首脳外交は、よかれあしかれ、中曽根政治の本質を余さず浮き彫りにした



世界に広がる平和運動のうねり

1982年は、世界の平和運動史上とくに記憶されるべき年となった。米ソの核兵器競争はとどまるところを知らず、「核による地球の危機」は、いまや人類共通のテーマとなっている。81年からヨーロッパをはじめ、アメリカ、日本などで多発的に盛り上がった反核運動は、82年に入って、6月の第2回国連軍縮特別総会で頂点に達した。日本の各団体が集めた反核署名は、じつに8000万をこえ、6月12日にはニューヨークで100万の米市民らがデモを繰り広げた(写真)

1982年は、世界の平和運動史上とくに



モナコのシンデレラ逝く

かつて、ハリウッドの女優から王妃へと華麗な転身を遂げ、世界の女性の羨望の的となったモナコのグレース王妃が、1982年9月14日、自動車事故で52歳の生涯を閉じた。81年、夫妻で来日した記憶もまだ新しい。女優時代は『真昼の決闘』『モガンボ』『喝采』などに出演して人気を集め、55年にはアカデミー主演女優賞をうけた。写真上は56年のレニエ3世大公との結婚式。左は9月18日に行われた葬儀



フォークランド紛争

1982年4月2日、アルゼンチン軍がイギリス領フォークランド(マルビナス)諸島を占領したことから、同島をめぐる両国は戦争状態に突入した。結果は、イギリスが圧勝し、2か月後に島を奪回することに成功したものの、この事件は領土問題の平和的解決が不可能に近いことを例証した。写真は爆沈するイギリスのフリゲート艦アンテロープ

苦悩するポーランド

労働者たちの団結による自由化の波が高まったポーランドでは、軍事政権による抑圧政策が行われている。1981年12月、全土に戒厳令が敷かれ、自主労組「連帯」のワレサ委員長以下多数の幹部が逮捕、拘禁された。戒厳令は1年後の82年12月に解かれたものの、混迷の度はより深まっている。写真は82年5月の反政府デモと、それを阻止する政府軍



写真/Imperial Press、PANA、PPS、WWP

ソ連のブレジネフ書記長死去

1982年11月10日、ブレジネフ共産党中央委員会書記長兼最高会議幹部会議長が心不全のため死亡した。18年の長期にわたって権力の座にあった東側の盟主だけに、その死は世界の耳目を集めた。後継の新首脳が米レーガン政権との対決姿勢や中国との和解ムードをどのように処理するかが注目される。写真は、11月15日の国葬でブレジネフの棺をかつぐアンドロポフ新書記長





欠陥ホテル大火災

1982年2月8日未明、東京・赤坂のホテル・ニュージャパンが炎上し、死者33人をだす惨事となった。この火事でホテル側の防火対策に重大な手抜きがあったことが明らかとなり、横井社長の経営姿勢に非難が集中した

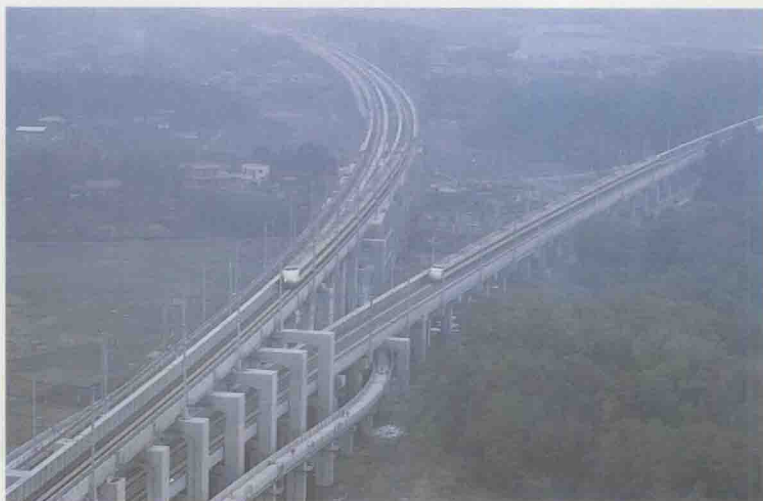
浩宮さま、ブラジルを公式訪問

1982年10月、浩宮さまは初の海外公式訪問国としてブラジルを訪れた。12日間の滞在中、各地で「シンパチコな(親しみやすい)プリンシピ」と、熱狂的な歓迎をうけられた。写真は、サルバドール空港に到着後、日本人学校の生徒から花束を贈られる宮さま



北国接近、二つの新幹線開業

1982年6月23日、岩手県盛岡―埼玉県大宮間を3時間17分で結ぶ東北新幹線が営業運転を開始した。大宮暫定始発などの紆余曲折はあったものの、これにより「遠いみちのく」のイメージは大きく塗り替えられることになった。また、新潟―大宮間を1時間45分で結ぶ上越新幹線も同年11月15日開業した。写真は、大宮近郊で分岐する東北(右)、上越(左)両新幹線



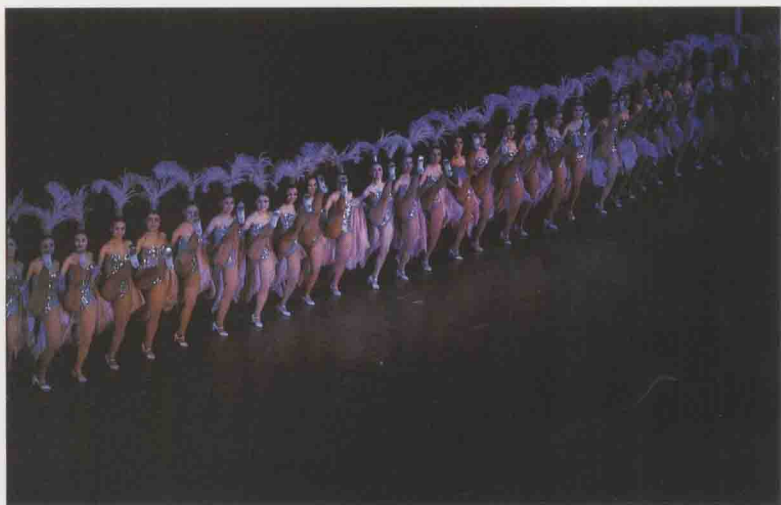


レオ、新球団結成4年目で日本一

1982年10月、西武は日本シリーズで中日を破り、プロ野球日本一となった。西武の前身、西鉄時代を含めると24年ぶりの優勝であった。就任1年目の広岡監督は、冷徹なまでの管理野球によって西武を勝利に導き、78年のヤクルトを率いての日本一とあわせて、セ・パ両リーグ制覇（史上3人目）をなしとげた。写真は、優勝の瞬間、マウンドに駆け寄って抱き合う田淵、東尾ら西武ナイン

SKD、浅草からさようなら

半世紀にわたって東京・浅草の国際劇場でレビュを続けてきたSKD（松竹歌劇団）が、1982年4月の公演を最後に、惜しまれながら浅草を去った。水の江滝子、草笛光子ら大女優を送り出したSKDも時代の流れには勝てず、今後は海外や地方公演で活動が続けていく。写真は、最後の舞台上でラインダンスをご披露するSKD



日航機、羽田空港沖に墜落

1982年2月9日、福岡発の日本航空DC-8が、羽田空港への着陸を目前にして墜落、機体前部が折れ、死者24人、負傷者150人をだした。事故調査の結果、片桐機長の逆噴射などによる操縦ミスが原因であることが明らかにされたが、機長の健康状態にも問題があったとして、日航の管理体制があらためて問われることになった

